

# 資料収集業務

2018(H30)年5月25日

大阪大学附属図書館 澁谷あずさ

# 本日本話しすること

- 大学図書館における雑誌を除く資料収集業務について

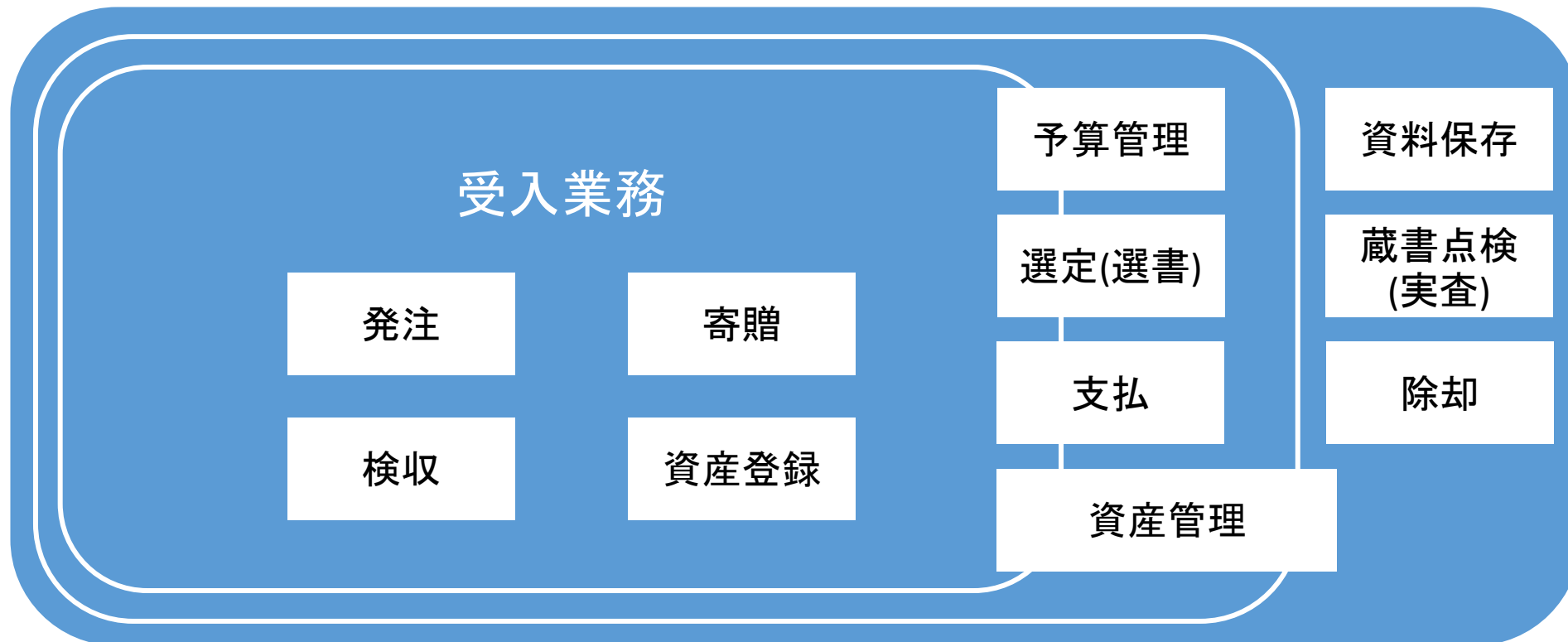
1. 資料収集業務とは

2. 資料収集業務の実際

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

# 1-1. 資料収集業務とは

- 購入もしくは寄贈により図書資料を入手し、管理すること



## 1-2. 図書資料とは

- そもそも「図書」とは

「印刷その他の方法により複製した文書又は図画、又は電子的方法、磁気的方法その他の人の知覚によっては認識できない方法により文字、映像、音を記録した物品としての管理が可能な物。」

「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」報告書<注3 4>

- 「図書」は資産（図書、雑誌、視聴覚資料などが「図書」にあたる）だが、資産とする範囲や基準は各大学の規定等により異なる。

# 1-3. 資料収集業務で必要とされる知識

- 会計事務について
  - 各大学の会計規程、実施規則、事務取扱要領（経理/予算/契約/決算/資産管理etc.）
  - 図書館の規定、内規（会計事務に関する所掌など）
  - 「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」報告書、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針
- 大学の教育・研究活動について
  - サービス対象とする利用者のニーズ
- 取引先（書店）について
  - 得意分野、セール情報
  - 出版流通ルート

# 本日本話しすること

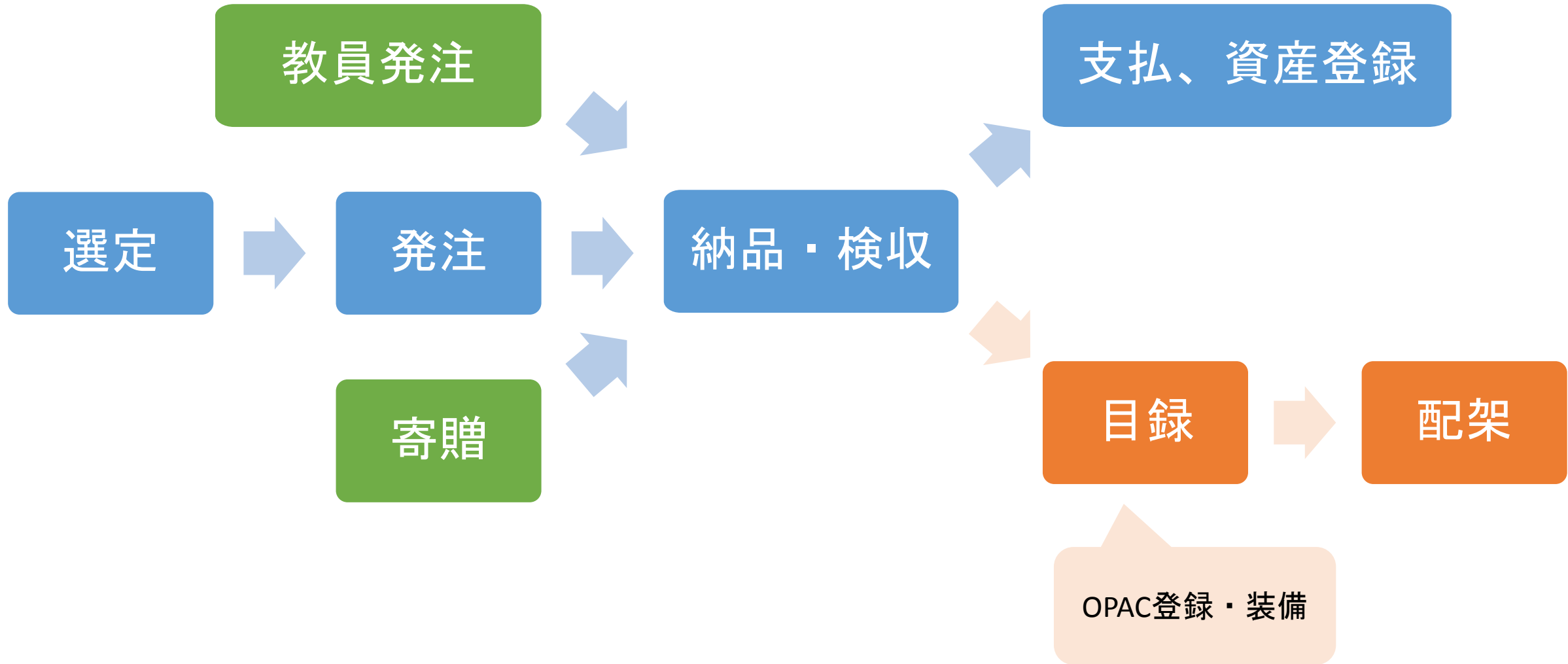
- 大学図書館における雑誌を除く資料収集業務について

1. 資料収集業務とは

2. 資料収集業務の実際

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

## 2-1. 資料の受入業務の流れ



## 2-2. 選定

- 収集方針、選定基準
- 選定者
  - 教員、図書館職員、学生・利用者全般（リクエスト）
- 選書方法
  - シラバス、カタログ、書店Webサイト、書評、受賞作、見計らい、店頭選書...
- 利用状況のフィードバック
- 教育・研究動向



## 2-3. 発注（1）

- 発注前チェック

- 予算（使用する予算・予算残額）
- 重複チェック（学内・リスト内）
- 著作権処理（視聴覚資料の場合）
- 入手可否

## 2-3. 発注 (2)

- 発注先の選定

- 在庫
- 価格（オンライン書店に表示されている価格とは異なる。洋書→レートの変動）
- 得意分野
- 発注方法（選書～発注までWebでできる書店もある）
- 支払方法（公費請求書決済が可能かどうか）

## 2-4. 納品検収

- 納品時に確認
  1. 発注したものが納品されているか
  2. 乱丁・落丁・汚損・破損はないか
  3. 納品書に不備はないか
- 図書館業務システムへの検収入力（受入入力）処理

## 2-5. 支払

- 図書館業務システムに検収入力（受入入力）したレコードをもとに支払処理
  1. 図書館業務システムで「支払処理」
  2. 「支払処理」したレコードをもとに、財務会計システムで「債務計上処理」
  3. 大学本部での処理→業者に入金

## 2-6. 資産登録

- 資産額の計上
- 資産台帳（図書原簿）への記帳
  - 資産管理番号（=バーコードラベルの番号）
  - 書名等
  - 金額（購入価格/寄贈評価額）
  - 取得日
  - 取得方法（購入/寄贈、財源）

## 2-7. 資産管理

- 蔵書点検（実査）

各所在にあるべき図書資産が実際にあるかどうかを確認する作業

- 除却

- 不用リストの作成

- 資産額の減少を計上

- 資産台帳への記帳（レコードを残したまま、除却したこと・除却の年月日・理由を記録）

## 2-8. 予算管理

- 計画的な執行
- 固定的な支出額の把握（雑誌・継続図書）

# 本日本話しすること

- 大学図書館における雑誌を除く資料収集業務について

1. 資料収集業務とは

2. 資料収集業務の実際

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化



# 3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-1. 資料費の厳しい状況

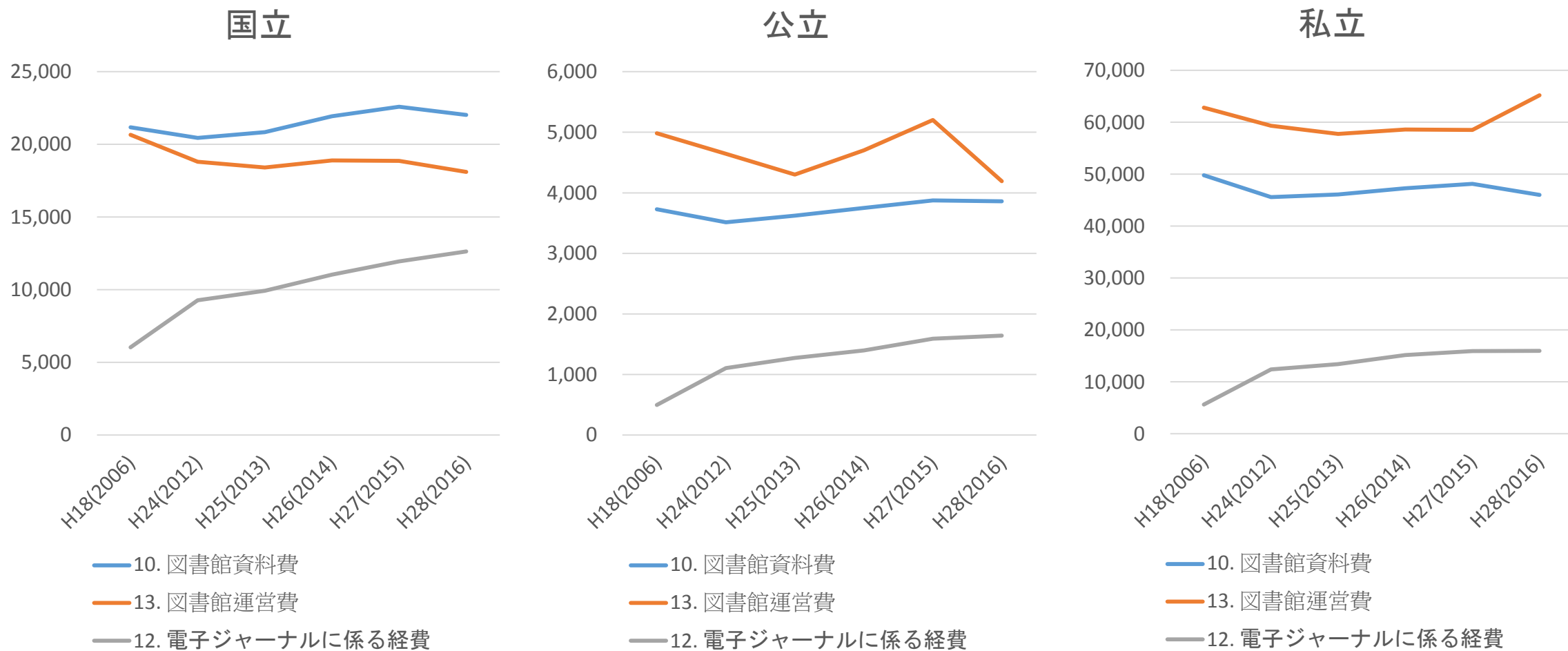
3-2. 電子ブックをめぐる問題

3-3. 資料収集・契約事務の変化

## 3-1. 資料費の厳しい状況

- 図書館予算は減少
    - 資料費は10年間で4%減少
    - 運営費は10年間で1%減少
  - 一方、電子ジャーナルに係る経費は増加
    - 10年間で2.48倍に増加
- 図書館資料費を圧迫

# 3-1. 資料費の厳しい状況



文部科学省「学術情報基盤実態調査（旧大学図書館実態調査）-平成29年度結果の概要」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/kekka/k\\_detail/1402574.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/kekka/k_detail/1402574.htm)

## 3-1. 資料費の厳しい状況

- 効率的に資料収集
- 戦略的に予算獲得

文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 「大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm)

## 3-2. 電子ブックをめぐる問題

- プラットフォーム、ナビゲーションの問題
  - 個人向けの電子書籍と機関向けの電子書籍は別物
- 大学単位でのアクセス数制限

国立大学図書館協会 学術情報委員会学術情報流通検討小委員会 「大学図書館における電子書籍のサービスに向けて－現状と課題－」

<http://www.janul.jp/j/projects/si/gkjhoukoku201306a.pdf>

## 3-3. 資料収集・契約事務の変化

- 蔵書構築、蔵書管理方針の再編成
- 研究費の不正使用への対応のため、契約事務の厳密化
  - 阪大の場合、教員発注は原則として物品調達システムを使用
  - Amazon Businessの導入